

令和4年度事業アンケート結果 [様式2] (記述式) まとめ

## 1 視察研修

- ・日帰りか一泊かは別として、他地区との懇親という意味合いも含め、今後とも継続実施してほしい。
- ・視察研修が有意義であることは認めますが、仕事をしながら民生委員をしているので、2時間程度で終わる全体研修（講演）の方が参加しやすいです。
- ・視察研修など今年は日帰りだったが、これで充分と思う。
- ・コロナ禍のため十分な研修等が出来なかったため何とも言えない。
- ・視察研修は今回の日帰りで良いと思う。あえて遠くに行かなくてもできる事はあると思う。
- ・自分達では行けない所を見学できるので良いと思います。
- ・久しぶりの研修でしたので気もうきうきでした。
- ・以前は泊りがけでしたが、今回は日帰りでした。コロナで変わった。これからも日帰りぐらいがいいです。
- ・ふだんなかなか同じ地区の方とのコミュニケーションがないので、こういう機会は他の町内の様子を聞けるので良いと思います。
- ・地震防災センターの視察で地震の体験をして、思っていたより恐いと感じました。防災用品の見直しも改めて必要だと思いました。
- ・視察研修では他の地区の人達と交流が出来て良かったと思う。
- ・勉強になり、民生委員相互の意見交換と仲間意識が高くなり、活動成果が上がる。
- ・今回のように日帰りの方が女性にとっては参加しやすいと思います。
- ・1期生、2期生は多くの事が学べるのでよいと思う。
- ・視野を広げたり体験を増やしたりする意味では参加してよかったと思う。
- ・継続
- ・他地区の方との交流もあり、知らなかった施設も訪問出来て良かったと思います。
- ・静岡県防災センターへの見学は震度7の振れを体感する貴重な体験が出来ました。
- ・移動中、バス車内ビデオをフル活用。
- ・地震の体験がとてもよかった。
- ・交通事情などもあり、施設の視察時間が短くなってしまい残念だった。
- ・コロナ禍のなか、研修に参加出来、防災について学べた事は非常に良かった。又地震震度も体感出来納得。今後の防災に役立てたい。
- ・地区の親睦が図れて良いと思います。
- ・静岡防災センターの視察はとても役に立った。特に地震体験は、今後の生活に参考になりました。
- ・市外への視察研修は新しい発見が多いにある。
- ・コロナ禍で少なくなった研修は防災センターへの訪問が多かったが、地元での防災訓練は無く実際に活かされない様に思う。区長等、役員の方達も一緒になり、訓練するとよいと思う。コロナ禍で無かったのかもしれませんが…（長山地区）
- ・自己負担が少しプラスされても良いのでもう少し遠くへ行きたい。（泊りも有り）他県での社協の今の活動等を知りたい。
- ・視察研修に初めて参加させていただき、今回静岡地震防災センターでの研修はとても有意義な視察となりました。
- ・民生・児童委員のコミュニケーションのため、泊まりがけの研修は有意義と思います。
- ・車内でのDVD鑑賞、防災センターは非常に参考になった。昼食はNG。

- ・泊はなく、日帰りで良かったと思います。
- ・日帰りで良かったと思う。
- ・防災センターの見学は、とても有意義でした。日帰りは研修先はしぼられるけど参加しやすい。
- ・静岡市にある県の防災センターの研修、今後予想される大地震の備えがとても大切だとわかりました。
- ・一日研修で十分だと思いました。
- ・視察旅行は日帰りで毎年行っても良いのではないのでしょうか？
- ・年間一回の視察研修が良いと思います。(日帰り)
- ・研修は個人では行けないところなので、これからも参加したいと思った。
- ・民生・児童委員のコミュニケーションのため、泊まりがけの研修は有意義と思います。
- ・新型コロナで活動できなくて残念でした。
- ・コロナによる自粛によりバス内での会話に制限があったので、委員相互の親睦の面で残念であった。
- ・コロナで視察研修がなかなか出来ない状況でしたが他県、市の民生委員の活動の視察や意見交換など出来たらよかったです。
- ・コロナの影響で中止になることが今でも続き、いまひとついろんな事が把握できていません。応用が出来ず困っています。出席できるものに関しては、しっかり学ぼうと思います。
- ・民生委員として本当に必要か、他の活動者でも出来るのか、直接貢献できなくても、民生委員児童委員が困っている人に寄り添えるところに居ることを知ってもらうことも必要と思う。
- ・久しぶりの視察研修で他県の視察ができ、皆さんとの交流が深まりとても良かった。

## 2 チャリティーバザー

- ・コロナ禍の内、実行されなくて良かった。
- ・待っている人もいるので、全くやめてしまわなくてもいいと思う。
- ・チャリティーバザーは長時間かけて計画・会議等されたのに中止となり残念です。9月、10月とか月日を改めて小規模でいいので、開けたらと思いました。
- ・8月上旬での中止決定は賢明であった。次の開催時期であるが8月の猛暑を避けた時期にする事も検討しては？
- ・外とかでやれる様なチャリバ、小さめでもいいのでやりたかったと思います。
- ・チャリティーバザーは実施ができずとても残念でした。任期中まだ一度もできていないので、今後の3年のうちに一度体験したい。
- ・ほかの地区の人と交流できて大変だけれど、楽しいから。
- ・コロナで出来なかったが、一度やればと思います。
- ・バザー品は種類をもっと限定した方が良いと思う。
- ・コロナが終息するか分からないので、この先もバザーはできないのでは？
- ・コロナ禍で実施しなかったが、役の方々はじめなど～大変だったと思われまます。お疲れ様です。
- ・新型コロナで活動できなくて残念でした。
- ・チャリティーバザーは町内に回覧でお知らせして、いくつか寄贈品が集まったが中止となり残念であった。食品においては、ふれ愛・みんなのフェスティバルのフードドライブに届けようと思う。
- ・町内会の広報に依頼、回覧しているが、チャリティーバザーの出品数が毎年少なくて苦労している。
- ・今年度のチャリティーサポート会議の話し合いの意見を参考に、来年もコロナが続くようなら早めに中止を決めるべき。
- ・サポート会議を重ねても、結局コロナ禍で開催出来ず残念でした。中止決定が遅すぎたと思う。
- ・今後、コロナが大丈夫と言う事が分かってから改めて会議を持った方が良いと思います。
- ・チャリティーバザーは民生委員の負担が重いとの異論から始まった。他イベントへの移行を検討、しかしコロナ感染拡大、中止へ。今年バザーに戻ったが、当初の意見をこの機会にもう一度原点に帰り、バザー負担軽減とバザーの目的(収益金の使い道)、大義をしっかりと議論し、時期民生員に説得力のある

説明が出来るように期待する。また、今回のバザー、サポート会議、全会一致にもかかわらず中止が遅れたことについては、臨時に理事会を招集し決定すべきであったと思う。民児協規約、第9条2項の改正を計ったらどうだろうか？

・初めての事でバザーの準備の大変さご苦労様でした。バザーを楽しみにしていた人がいました。実際には、交通機関の問題もあり誰でもが参加できるものではありません。ひとり暮らしの高齢者はほとんどの人はできません。逆に寂しい思いをさせたような気もしました。

・コロナの影響で中止になることが今でも続き、いまひとついろんな事が把握できていません。応用が出来ず困っています。出席できるものに関しては、しっかり学ぼうと思います。

・チャリティーバザーは、作業内容が体力には多すぎ、限界を感じる。市民は楽しみにしています。コロナ禍で実施するには最大に広い会場でしたら可能なのではないのでしょうか。

・バザーを開催するか否かのアンケート結果を無視しての開催決定に始まり、全てのゴタゴタ、最後の中止決定に至るまでの決断の鈍さ、これは責任問題ではないのでしょうか。全市民への物品提供のお願いをかけてからの、やっとの中止決定については正直あきれ返りました。そもそもコロナに関係なく負担の大きさに見合うチャリティーイベントではないと思います。チャリティーサポートの委員の皆さん、お疲れ様でした。

・チャリティーバザーの地区代表の方々の会合での意見が全体企画に反映されてないのはいかがなものでしょうか。さらに申し上げるならば、上層部の方々は責任を負うことを回避されているように感じています。私の感じ方だけでしょうか？

・with コロナの対策が不十分で見通しが甘く、せっかく協力してくれた市民の方々にご迷惑をおかけし、申し訳なかったです。私はまだ時期尚早だったと思います。

・チャリティーバザーの品物は今回限られたものだけでした。しかし限られた物以外でも出品して下さった物だから受け取ってもらいたかった。返却するのは相手に失礼だと感じた。

・ウィズコロナに向けて、やり方を変更しては。

・バザーについてアンケートをとりながら、アンケートが活かされたのか疑問である。

・最初から、実行すべき!!の感じを受けた。(アンケートは形だけ~したような)

・チャリティーになってないように思います。

・チャリティーバザーは結構みなさん負担になるので、やめてもいい。

・R4年分のチャリティーバザーの中止連絡等について、コロナ感染状況拡大の場合、早期開催中止の判断をすべきであった。

・チャリティーバザーはコロナが完全になくなった時に考えるべきである。できればやめてもいいと思う。

・バザーは今の時代合っていないと思います。もっと有意義な活動はないのでしょうか。

・チャリティーバザーは必要ないのではと思う。

・チャリティーバザーはもうしなくていいと思う。民生委員が非常に大変だと思う。

・準備を含め長期間に亘るため改革必要では？

・チャリティーバザー中止決定が遅かったので、町内の皆さんへの報告や対応に苦労しました。

・今回の中止の決定は、いくら何でも遅すぎだと思う。町内への連絡を考えると、もっと早くて当然だと思う。そもそも民生委員が主体となって行うべきイベントかを考えて欲しい。

・バザーそのものを考え直した方が良いと思う。

・コロナ感染が拡大する状況の中で、チャリティーバザー開催は無理だったのではないのでしょうか？

・大変だけでやめるべき。理事会の意見が強く、やる気をなくす。

・感染拡大が予測されていたにもかかわらず、なぜ中止の判断が遅れたのか、一般の民生委員の方々に多大な迷惑をかけた。その後謝罪の言葉一つもないが、こんなことでは今後チャリティーバザーには協力できない。・コロナ禍だから途中でバザー開催中止ではなく、令和4年度福祉チャリティーバザー計画は中止にする。

・今年度、バザーが中止になったが、コロナが拡大している中で”実施ありき”で規模を縮小してやるという考え方に疑問！実施する事に対して目標、費用対効果をしっかり議論すべきだったと思う。今まで当たり前のようにやってきた事に対し、見直しをするべきと思う。バザー用の品物の収集についても各民生委員が3個提出する様にといい意考え方も全く理解できない。

・チャリティーバザーは8月の暑い最中にやるのはどうか？  
・コロナ禍での実行するか否かで担当された方は大変だったと思います。意義あることだとは思いますが、現状に合った決断をしないと混乱するばかりですので、実行ありきで進むのは違っていたのかと思いました。

・チャリティーバザーの中止を今一度ご検討下さい。  
・バザーはコロナ禍においては仕方がなかったと思います。でも、来年度からバザーの見直しをしなくてはいけないと思います。私の周辺ではやりたくない人が多いように思います。  
・チャリティーバザーでは地区の意見等考慮されているのか疑問。今回のやりとりで不信感が残ってしまった。

・区内でのチャリバの意識はあまり高くないと感じます。  
・品物を集めたり、値付け、品物を運んだりなどが大変だと聞いています。コロナもあり、これからもバザーはやめた方が良くと思います。別の形でのチャリティーを考えてはどうかと。  
・開催不開催の決定が遅すぎた。バザー品の受け取り後不開催となり対応に困った。  
・チャリティーバザー数回実施に関わったが準備が大変だった事、又、当日の販売方法等(特定品の買いしめ)見直す必要があるのでは？

・民生委員として本当に必要か、他の活動者でも出来るのか、直接貢献できなくても、民生委員児童委員が困っている人に寄り添えるところに居ることを知ってもらうことも必要と思う。

・感染症のため中止したことは良かったと思う。クラスターが起きることの方が良くないため。

・チャリティーバザーは、作業内容が体力には多すぎ、限界を感じる。

・バザーの開催について、コロナ禍での運営に関して、賛否の決定のゴタゴタに疑問がありました。いろいろな行事が中止される中、バザーのように物品を集めて販売するという二度手間、三度手間をかける行事は、他の行事と少し違うと思いました。多くの市民の方々に寄贈品の提供をお願いして、集めて販売するまでの時間と労力はコロナという感染症の中ではとてもむづかしいと感じました。

・目的が社協に寄付するためのものか？社協もなくともいいと言っているのでは、民生委員の自己満足か？困っている人への支援や子供への対応(子ども食堂など)に移してはいかがか？社協への協力として民生委員一人あたり5千円寄付すれば150万/年供出できるのでは。

・バザーは、インターネット等で使用済みの物まで売買〈フリーマーケット〉等している時代、必要無い。

・区内でのチャリバの意識はあまり高くないと感じます。

・品物を集めたり、値付け、品物を運んだりなどが大変だと聞いています。コロナもあり、これからもバザーはやめた方が良くと思います。別の形でのチャリティーを考えてはどうかと。

・開催不開催の決定が遅すぎた。バザー品の受け取り後不開催となり対応に困った。

### 3 全体研修

・専門委員研修・全体研修の渡辺先生のお話で大変感銘を受けました。なぜ豊川市はあのよう動けないのでしょうか。感動するだけでなく、そのような動きを実現させる手立てを考えましょう!!

・良いと思います。

・その時その時の取り上げられるテーマでよかったです。

・全体研修はこれからもやってほしい。(民生委員としての知識を増やすために。)

・渡辺竜夫氏の講演はとても良かった。出来たら資料も見ながら聞きたかった。(話のテンポが早いのでメモを取るのが必死だった。)

- ・私のレベル向上につながった。
- ・研修に参加し気付かせてもらった事を少しずつ今後の活動に生かせたらと思う。(相手の気持ちを大切に)
- ・継続
- ・「知的障害のある人の地域生活」の研修はとても有意義でした。障がいというメガネで見ない様にと云うことばがひびきました。
- ・行った方が良いと思います。
- ・参加したすべての研修が充実した内容で民生委員として参考になりました。今後こうした研修内容であってほしい。高齢者福祉専門委員会に参加して委員の方々と接し、委員の方々の意見を聞き有意義な部会活動でした。
- ・研修は良かったと思います。
- ・いろいろな課題での問題提起は参考になっています。
- ・毎回講師の先生のお話が楽しみ。
- ・全体研修は、全体を確認出来とても大事。
- ・新人民生委員の場合、民生委員活動がどういうものか全くわからず、研修によって知識を得ることは非常に重要なことと思う。
- ・いろいろな課題での問題提起は参考になっています。
- ・コロナ禍のため十分な研修等が出来なかったため何とも言えない。
- ・コロナ禍のため十分な研修等が出来なかったため何とも言えない。
- ・3期生(9年)、学習がおとる?いったところばかりなので学びよくがおとる?
- ・全体研修と専門委員研修は区別する必要はないのではないかな?
- ・民生委員の活動のみではなく、自分たちにも生かせるような研修に。
- ・実際に災害が発生し避難が必要な場合に「福祉専門職」は何をしてくれるのか?訓練時のサポートのみなのか?
- ・全体研修に数回参加しましたが、あまり参考にはならなかった。内容が自画自賛的で聞いていても面白くなかった。
- ・研修会等の内容が、活動に役に立っていない。
- ・全体研修(民生委員 自己啓発推進に該当する)希望者のみで良いと思う。

#### 4 専門委員研修

- ・講師の話力は抜群であった。テーマの障害者福祉についてよくわかった。次は豊川市の障害者支援センター長の話を聞きたいものである。
- ・講師の話力は抜群であった。テーマの障害者福祉についてよくわかった。次は豊川市の障害者支援センター長の話を聞きたいものである。
- ・専門委員研修、全体研修の渡辺先生のお話に変感銘を受けました。なぜ豊川市はあのよう動けないのでしょうか。感動するだけでなく、そのような動きを実現させる手立てを考えましょう!!
- ・良いと思います。
- ・児童福祉部会でしたが、ネクストステージへの参加や若竹荘への昼食作り、子どもの貧困の連鎖の問題など大変考えさせられました。
- ・自分の知らなかった事などが教えてもらえ良いと思います。
- ・今ぐらいのことは民生委員として役を受けている以上、それなりの知識も増やさないといけないので、やった方がいいと思う。
- ・障害者の施設と作業所の見学で、職員さん達の障害者の方への対応と、作業を真剣にしている姿が印象的でした。
- ・継続

- ・児相の現状を知ることが出来、非常に有意義であった。
- ・専門委員になった人大変な仕事だと思っています。報告を受けるだけですごく勉強になると思いますので、引き続きお願いします。
- ・コロナ禍のため十分な研修等が出来なかったため何とも言えない。
- ・研修は大切な取り組みですが、1年間の取り組みの日時、曜日が固定されて、私個人は仕事を休む場合多くありました。改善の要望をしても改めてもらうことが出来なかった。もう少し柔軟な運営をしてもらいたかったです。
- ・専門委員会はコロナでほとんど活動できず残念。
- ・生活支援部会に参加していましたが、生活支援の事業が多く、なかなか理解ができないことも多かった。多くの支援活動を浅く研修するよりも、年間を通して1つ2つのことを研修するほうが良いと思う。コロナのこともあって、研修の計画もその都度次回のことを決めるという状態だったので、3年間を通した計画が必要ではないかと思った。
- ・専門委員として、自分の知らない事が勉強になり、あらためてもっと気にならなくてはと思いました。

## 5 主任児童委員連絡会による児童委員研修

- ・良いと思います。
- ・はじめて研修に参加した時、良く分かりませんでしたでしたが徐々に少し分かるようになり、育成園、ブーフーウー他、参加して良かったです。
- ・継続
- ・研修は良かったと思います。
- ・コロナ禍のため十分な研修等が出来なかったため何とも言えない。
- ・良くわからない。
- ・前年通り。新任の民生委員・児童委員の研修に値しないと考える。今後も当該活動が続けるなら、名称を「協力」と変更する事。合わせて、段取り(検査内容の説明、委員の活動の目的と内容の説明、保育士さんとの顔合わせ、会場にいる親子への挨拶、開始と終了時のメリハリ等)をきちっと決め、それを確実に実行するよう取り進める事。
- ・主任児童委員会研修は、無駄しっかり行動してほしい。

## 6 児童委員研修(1.5歳, 3歳健診)

- ・保健センターでの協力や、ブーフーウー教室やふれあい体験など新鮮でした。
- ・小さい子供達に出会えるのは楽しい。
- ・継続
- ・1.5歳の健診に参加させていただきました。子どもの様子が見れてとてもよかったです。
- ・経験したが1回のみでわからない。
- ・コロナ禍のため十分な研修等が出来なかったため何とも言えない。
- ・サポート係として行動あり。
- ・乳幼児健診に立ち会うことは、児童委員の研修としてはその効果や疑わしい。
- ・健診の研修は児童委員は参加なしで良いと思います。
- ・健診時に民生委員は必要ないと思う。
- ・健診については、こういう時期ですと親子さんの気持ちも考えて、あまり保健センターの方ではない人がいるのも…と考えています。
- ・年寄りの民生委員に託児をまかせる若いお母様方に不安はないのだろうか?と思う。私ならいや。

## 7 防災活動

- ・民生委員としての防災活動を実践したい。基本方針は、町内会や自主防災会にも周知して、民生委員

としての役割分担を理解してもらうことが大切と思う。

- ・災害は突然の事なので、練習ができて良いと思います。いざという時役立つのではないのでしょうか。
- ・防災活動は重要な事項ですので、具体的に活動方法等を計画する必要があると思います。各町内との連携が必要。
- ・防災活動はもっとしっかり分科会をして、やった方が良い（専門部会委員を増してでも実行した方が良い）と思います。
- ・防災活動の「基本方針」の中で、避難行動の前後における民生委員のあるべき姿が明示されているが、特に避難所設置時の関わり方が抽象的すぎると思われる。個別避難計画を作成するのは必要ではあるが、地区の自主防災会等と関りについて、何か基準みたいなものはないのか？
- ・計画作成にあたっての民生委員の役割は、要援護者の選定及び連絡係ということでよいのか？選定にあたっての対象者とは、現在、巡回している人以外はカバーすることが出来ないがそれでよいのか？町内会とのリンクは？また、モデル地区ではないので、候補者を把握してもそれ以上の事務的処理はストップするとおもうが？次のステップは市側からの指示待ちか？災害がいつ起こるか分からない中でそれまでは中途半端の状況で良いのか？
- ・志気の低さがあると思う。
- ・自主研修で消防署の方の災害時における避難所設営のカルタがよかったです。
- ・良くわからない。
- ・一般的なことより、豊川市の避難所開設時の事務手順等について。
- ・防災活動に於いて民生委員の役割があいまい。
- ・継続
- ・意識付けの防災活動は結構だが、町内会の防災委員との役割分担で調整は必要ないか？
- ・民生委員であっても災害時、遠くの方の見守りは出来ません。おそらく自分の回り、自分の家庭でせいっぱいかと…。民生委員も高齢者が多いです。
- ・現実問題として御油の防災場所は町民の数に対して全然足りません。結局各自で安全確保をするしかありません。これは今直ちに解決できない事です。
- ・町内会との二重活動になる心配がある。
- ・防災活動は、他の地域の活動を紹介してほしい。

## 8 ひとり暮らし高齢者世帯把握調査への協力

- ・単身者の“緊急連絡先”は、誰かが聴取する必要がある、出来るのは民生委員しか出来ないと考える。“緊急連絡先”の把握は高齢者夫婦でも必要で、対象に追加すべき。
- ・必要ではあるが、調査に苦勞する。
- ・新規ひとり暮らし高齢者を把握する大事な活動です。
- ・調査することで状況がよくわかるので、やった方がいい。
- ・行政と連携を密にできると良いと思う。
- ・ひとり暮らし高齢者の新規登録の説明がうまく出来ず、登録出来なかった事が残念でした。
- ・今まで通りでいいと思う。
- ・年齢が高齢な程、把握しなければいけないと思う！
- ・継続
- ・一人暮らし高齢者世帯把握調査への協力はしていきたい。
- ・ひとり暮らし、今まで同様活動あるのみ。
- ・独居老人の世帯が増加している現在、民生委員の訪問活動は最も重要な仕事と思う。
- ・民生委員の仕事だと思いますが、近所、町内会でも出来るといいと思う。
- ・完全にひとり暮らしの高齢者の調査をして知らせてほしい。(名簿でひととおり訪問するのですが、世帯が別で一緒に家族がいたり、敷地内にいたりして、完全にひとりの高齢者は少ない様な…)

- ・近所の付き合いがそえんになっており成果が上がらない。
- ・何回訪問してもお会いできない人もいたり、訪問時には元気だよと言ってくれるがそれ以上なかなか知ることは出来ず、手助けになってあげられていないなど感じている。
- ・なかなかなじんでいただけない方も多く、又町内のお付き合いを行わない方までいて、情報の収集に苦労しています。
- ・なかなか会えない人も多いので、全く会ってもいない人がいます。一戸建てならわかりますが、県営ですと誰も知らないと言われ、把握できていない現在の所です。
- ・近所の方から様子が変と連絡があり訪問し、高齢者センターへも相談しました。人とのコミュニケーションがにがての様で、自分でするからと遠回しに拒否されました。人との接し方は難しいです。
- ・コロナでなかなか訪問できず。
- ・対象にならない高齢者の中にも苦しい生活をしている人も、また元気な一人暮らしの人もいる、一人暮らしに線を引いてしまうと取り残される人も出ると思うが、私一人では手に負えない高齢者の増加である。私も高齢者である。元気な高齢者の協力で共助が必要になってくると思う。
- ・なんども家に出向いてもいない、どうしたかと心配で役所に連絡すれば、すでに施設に入所していたと。そういった問題がたびたびあります。かならず民生委員には連絡してほしいと思います。
- ・記されている住所に住まわれていない状態が続いているのに、住所変更されてないこともあり少々困りました。
- ・町内会に入っているか等で見守りに差が生じているかもしれない。
- ・住民票ベースの一人暮らし高齢者のデータ者を少なくとも年に4回は配布してもらいたい。
- ・一人暮らしの高齢者の名簿の中には、世帯分離してある為、本当に一人で暮らしていない方が多くいます。一軒一軒訪問して実態を調べる事は本当に大変です。当事者である一人暮らしの方が申告して訪問してほしいという様にならないでしょうか？各家庭の事情に介入するのがむずかしく当事者が来て欲しいというシステムにはならないでしょうか。
- ・ひとり暮らしの方、介護の方を訪問して色々勉強になりました。中には、男性の方は訪問することが嫌みたいで、いつも居留守をされてしまう。
- ・自分も担当しているので、大変です。ただ、訪問するとき、留守だったりするので、一週間かかります。
- ・ひとり暮らし高齢者世帯把握調査→市役所が直接手紙で実態調査依頼を送付すれば済む。その結果として、一人暮らしの高齢者に対し調査を依頼すればもっとやり易くなるし、負担も減る。役所として人工数がないのであれば、その手紙を作成する作業を社協（民生委員）に委託すれば良いと思う。
- ・一人暮らしは、同じ場所に子供と同居の方が結構見えた。
- ・高齢化が進み1人暮らしの方が増え、お話すると話をしない日が多いと言われるので、町内のサロンに参加して下さる様をお願いします。

## 9 介護用品券・理美容券の配布の協力

- ・配布は費用面や対象者の利便性から民生委員実施でよい。対象者のリストに配布開始期日を追記してほしい。
- ・名簿に入っている方でも介護施設入所で除外者をみつけることができよかったです。また配布者には喜ばれました。
- ・協力できます。
- ・ときどきは様子を見に行きがてら配布するのはよい。郵送料も削減できるので。
- ・今まで通りでいいと思う。
- ・継続
- ・見守り訪問を兼ねるので訪問配布は良いと思う。
- ・待っている介護の方もみえます。



- ・見守り対象外の人達の事が分かり、以後、見守り対象となられた場合、お話ししやすい。
- ・現状を知るためにも配布には協力した方がよいです。
- ・自分の担当区域に自宅で介護されている方を把握する事が出来て良いと思う。介護されている方の大変さを聞く事もできる。
- ・地域の要介護者の把握になるので配布する事にも意義はあるが、コロナ感染の中の訪問は今年のように市役所から直接の方が良い。
- ・介護用品券等の配布については、一人暮らし高齢者の現況、特に介護施設等に入所しているのが対象者かの判断に迷った事が多々あった。
- ・自分も担当しているので、大変です。ただ、訪問するとき、留守だったりするので、一週間かかります。
- ・民生委員が訪問するのではなく、市担当部署で対応可能と考える。(現行の通り郵送、振込用紙の送付等)
- ・券を配布するのに郵便で済むなら、ずっとそうして欲しい。
- ・コロナ禍の時代、郵送でいいのではないか。
- ・介護用品券等直送が安心安全。
- ・郵送又はケアマネによる配布。
- ・家族のいる方は市の郵送で良いと思う。
- ・介護用品等配布に関しては、日中家の方が留守が多く、夜伺わなくてはならず、郵送でできるなら郵送という形にしていただけたらと思います。
- ・介護用品券等の配布は、これからも郵送にしてほしいです。
- ・介護の状況を知るという点で、民生委員の仕事になっていると思うが、訪問がいやがられていると感じる事も多く、郵送で済ませた方がよいと思う。
- ・町内以外の人介護用品券も届けていたから、郵送にさせていただいて助かりました。
- ・コロナでなかなか訪問できず。配布することが少なくなった。このまま郵送にさせていただくことはできないかと思う。
- ・今後も市からの直接郵送にしていきたい。
- ・ひとり暮らし高齢者の見守りだけでも大変なのに、用品券まで配布するのは大変すぎますので郵送にしてほしいです。
- ・コロナで直接、市から配送されたことが多かった。今後はすべて市から本人に直接送ってほしい。
- ・民生委員に協力お願いではなく介護高齢課で配布して下さい。
- ・介護用品券を配布する事により、本人を知るきっかけとなり必要だと思う。定年退職の年齢が延長されるに伴い、民生委員の年齢も高齢化してきた。恒例の民生委員が高齢者の見守りをするようになったのだから、今までの諸行事は精選されるべきである。この点を踏まえ、市役所が直接郵送することで何等不都合の事はないので、わざわざ民生委員が当事者に手渡ししなくてもよい。
- ・介護用品券の配布は当事者の状況を民生委員として関わることは大切だと思うが、どんな状態(状況)でその券を配布するのか分からず持っていくので、話がづらい。ある程度の本人の状態を教えてもらえると、その日(配布日)以外でも様子を窺ったりしやすい。
- ・会って話が出来ることではなく、郵送でいいと思う。
- ・郵送で出来ることであれば今のままで郵送して欲しい。
- ・このまま郵送し続けてください。
- ・介護用品券、理美容券配布は郵送となった方がいいと思う。
- ・郵送できるなら郵送にしてほしいです。
- ・市から直接送付して良いのではないかと？現状何ら問題は無いのでは？持参しても意味あるのか？
- ・介護券等は市で送付ください。委員がする必要は無い。

## 10 ひとり暮らし高齢者を対象としたふれあい電話訪問事業への協力

- ・高齢者の方とお話をする時、時間を忘れてお話しされることが多くあります。いろいろな事をお話しされます。その時、生き生きとされています。こんな経験からこの事業は高齢者の方を元気にするものだと思います。より充実させることが必要だと思います。
- ・回数を増すごとになかよくなり、会話がはずみよかったです。
- ・電話訪問は一人暮らしの方はしゃべる機会がないのでいいと思います。
- ・誰かと話す機会を待っています。大切と思います。
- ・ふれあい電話訪問事業への協力について経験したところ、一日中誰とも話をしない人はとても楽しみにしているようで、是非続けてほしいと思います。
- ・ふれあい電話訪問事業継続希望
- ・誰かと話す機会を待っています。大切と思います。
- ・対応者の傾聴技術が必要。
- ・今、現状女性のみが参加ですが、男性にも参加してほしいです。また、月2回→月1回にして、多くの方に参加してもらいたいです。
- ・女性の民生委員さんだけでなく、男性の民生委員さんも協力できるようになればと思う。
- ・対象者数、住居地などの点で、民生委員が担当するのではなく、高齢者相談センターの職員が担当する方が適当である。
- ・実際に電話を多くの方が活用しているか。
- ・継続
- ・希望者の地区の民生委員が行った方が良いのではないだろうか？拘束される時間と時間単価が合わない。中途半端なボランティア

## 11 生活福祉資金貸付制度への協力

- ・継続希望
- ・いい事業と思うが経験なし。
- ・協力ではなく見守りでよいのでは。
- ・ほとんどお会いできないので、直接社協から郵送してもらいたいです。
- ・連絡ぐらいなら、あまり立ち入らないほうが。
- ・利用者が軒数的にも少なく手紙を届けるのみで役立っているか疑問。
- ・生活福祉資金貸付制度は民生委員では重しにならないでしょうか。生活福祉資金制度が、民生委員どの位の人が把握しているのでしょうか。もう一度見直してはどうでしょうか。
- ・お金のことなので直接関わりたくない。現状は督促状のポスト投函のみ。
- ・金銭的な事はトラブルも多いし、ずるいひともいるのでこの事については私はいっさい市の方へお願いしたいです。
- ・お金が関係する事なので、すべて社協でやってほしい。

## 12 ふれ愛・みんなのフェスティバルへの協力

- ・ふれ愛……は、一般として参加した。良い経験になった。駐車場が不便だった。
- ・協力できます。
- ・継続
- ・不要

## 13 赤い羽根共同募金運動（事業所募金）への協力

- ・今までやってきて特に問題なし。民生委員として協力できることはやりたい。
- ・継続

- ・赤い羽根共同募金運動(事業所募金)は、どこの事業所も感じよく応じてくださり助かっています。
- ・皆さんに頂いた募金全額、寄付にまわせないものでしょうか。
- ・事業所への赤い羽根共同募金のお願いに行った時に、市役所からの事前連絡が無いとよく言われた。
- ・事業所募金時、礼状と赤い羽根のみですが粗品を考えた方がよいかと思えます。
- ・田舎だから、「事業所募金」のお願いに嫌な顔は見せないが、しかし、それは田舎の付き合いで拠出しているのであって、「任意の募金」ではないと思う。
- ・「金の取り立て」みたいで、やりたくない。
- ・郵送で出来ることであれば今のままで郵送して欲しい。
- ・民生委員が訪問するのではなく、市担当部署で対応可能と考える。(現行の通り郵送、振込用紙の送付等)
- ・ここまで民生委員の仕事なのか疑問に思う。年中行事かも分からないが別の組織でもやっているのに、多くの募金は望めないと思う。
- ・コロナ禍の時代、郵送で、振り込みでいいのでは。
- ・集金係みたいで、活動の中では気がすすみませんでした。
- ・集金は民生委員の仕事ではないように思う。
- ・町内会で集めても良いのではないかと？
- ・赤い羽根共同募金(事業所)は民生委員に負担が大きいと思う。
- ・共同募金は街頭募金のみでも良いと思えます。
- ・必要ないとおもう。個人個人が豊かになれば。
- ・事業所、法人への募金の活動を民生委員が行う意味が理解できない。町内の組長等にお願いするのが妥当だと思います。
- ・町内会も募金しているので二本立ての集金は重複して断られることがある。全て町内会に一本化できないか？
- ・お金を集金に行く仕事は余りしたくありません。
- ・事前に連絡が行っていると聞くが、それがいつなのか？本当に言っているのか？(失礼)確認が取れないので訪問時やや不安。
- ・事業所募金については心よく頂ければいいのですが、なかなか頂きづらいです。できればなくしてほしいです。
- ・募金活動は苦勞が多い割に効果が少ない。時代に合っていない。
- ・事業所募金への協力は民生委員がやるべき事なのか疑問である。
- ・民生委員の仕事とは思わない！
- ・お仕事中、伺うのはとても心苦しいと感じる事業所もある。それと、人数も少なくして伺った方が良いのでは。
- ・それぞれの自治体において。
- ・コロナ禍での事業所の経営状況がわからないまま、集金に伺うというのは心苦しいと感じました。
- ・事業所への協力は民生委員としてはお願いしにくいです。常に疑問に思っていました。私の地区では事業所の方もあまりいい顔をしません。
- ・定年退職の年齢が延長されることに伴い、民生委員の年齢も高齢化してきた。恒例の民生委員が高齢者の見守りをするようになったのだから、今までの諸行事は精選されるべきである。この点を踏まえ、反対する民生委員が多いのに、なぜ続けるのか。民生委員は「金の取り立て屋」ではない。事業所といえども、町内会で共同募金に協力しているのだから、二重取りする事はない。
- ・募金は負担がある。
- ・お金を持ち歩かなくてはならないから嫌だ。
- ・赤い羽根共同募金運動は民生委員の仕事だとは思いません。
- ・赤い羽根 事業所募金、街頭募金、今後の時代を考えて終了した方が良い

- ・事業所募金への協力についてお願いに伺う際に、かなり勇気がいるので、ハードルが高いです。
- ・事業所募金もコロナでまともな営業ができないのに気持ち良く募金して下さり感謝の気持ちで頂きました。

#### 1 4 赤い羽根共同募金運動（街頭募金）への協力

- ・街頭募金運動の拡大、新イオンモールでの実施。
- ・赤い羽根共同募金の街頭募金、天気もよくできて良かった。
- ・街頭募金活動に参加して、人と人との優しさを感じました。意味ある活動と思いました。
- ・いいことだと思います。
- ・イベントなのでみんなで楽しく活動しました。
- ・協力できます。
- ・今までやってきて特に問題なし。民生委員として協力できることはやりたい。
- ・昨年11月に行った街頭募金では、コロナ感染対策のため積極的な声かけはできなかったが、実施できて良かったと思う。
- ・もっと増やしたら良いと思う。
- ・私の住む町内は「町内会費」で支払っている。これは「任意の募金」と呼べないのではないか。
- ・皆さんに頂いた募金全額、寄付にまわせないものでしょうか。
- ・いろいろの感心を見る事が出来た。
- ・募金活動は苦勞が多い割に効果が少ない。時代に合っていない。
- ・まだ「街頭募金」の経験はないが、わざわざ街頭ですることだろうか。
- ・ここまで民生委員の仕事なのか疑問に思う。年中行事かも分からないが別の組織でもやっているの、多くの募金は望めないと思う。
- ・町内からも募金がくるので出す方によっては何度も思ってしまう。また門前の入り口で立った経験で、両側で声をあげられるのも意志がないのに通りにくい。
- ・必要ないとおもう。個人個人が豊かになれば。
- ・継続
- ・街頭募金は心ない人の嫌なことばでこちらが傷つきます。いい人も多いのに、バンドエイドをあげたりするのは無駄な事かと思えます。募金なのですから。
- ・民生委員の仕事とは思わない！
- ・負担がおおきいのでは？年齢的に。

#### 1 5 歳末たすけあい街頭募金への協力

- ・いいことだと思います。
- ・毎年参加しているが、募金活動は大変有意義に思う。風船が強風ですぐ割れるので、ふくらませないでそのまま子どもさんにあげてもよいと思う。
- ・協力できます。
- ・今までやってきて特に問題なし。民生委員として協力できることはやりたい。
- ・継続
- ・皆さんに頂いた募金全額、寄付にまわせないものでしょうか。
- ・募金で集まった中から、私たちの活動費にもどってくることに疑問を感じます。
- ・ここまで民生委員の仕事なのか疑問に思う。年中行事かも分からないが別の組織でもやっているの、多くの募金は望めないと思う。
- ・必要ないとおもう。個人個人が豊かになれば。
- ・募金活動は苦勞が多い割に効果が少ない。時代に合っていない。
- ・街頭募金に自分が立ってみて、募金してくださる方に感謝です。自分もそういう場に出くわしたら気

持ち良くしようと思います。

#### 16 歳末のひとり暮らし高齢者や障害者等への見守り訪問の協力

- ・カレンダーが喜ばれて、民生委員の名前と電話番号が記入できるので良いです。
- ・協力できます。
- ・今までやってきて特に問題なし。民生委員として協力できることはやりたい。
- ・継続
- ・カレンダーを配布しながら一人一人お会いして見守ることが出来ます。
- ・継続
- ・市の福祉計画や地域福祉活動ハンドブックによれば、地域の“見守り”は福祉委員が担当する様な記載だが、現実には無理。民生委員がやらざるを得ない。前述の文書や民生委員業務の定義や紹介等、要改正。障害者及び母子父子家庭へ新規配布希望者を募るのではなく、対象者全員へ配布するのが良い。
- ・カレンダーの配布は喜ばれていいが大変である。
- ・カレンダーの配布は11月半ばまでにしていただきたい。
- ・町内会と民児の共同行動が必要と思います。
- ・カレンダーを不要という人が少々増えています。それに変わるものがあると良いと思うのですが。

#### 17 その他（1～16以外）

- ・ボランティアの気持ちで民生委員を引き受けました。高齢者、一人暮らしの人を直接の手助け、また話し相手だけでもと思っていました。間接的に良いことだからと1～16のそれぞれを実施すれば、地域の老人等の顔が遠くなります。
- ・毎年のアンケートの結果が、次年度に反映されているのか疑問です。どのように活用されているのか知る機会があると良いと思います。
- ・コロナ禍の中、部会等の開催について各部会長は大変ご苦労されたと思います。そうした中で会員として感じたことは、部会の開催判断は部会長に委ねられていたように感じます。このことについては上層で、一定の方向を示すべきではなかったでしょうか。こうしたことが出来なかったことが非常に残念でした。今後に期待します。
- ・事あるごとにアンケートを取っているが反対賛成の意見が活かされていない。（仮に反対意見が多くても、今までやっているからとアンケートの結果が吸い上げられない。）
- ・コロナの関係で、初めの1年間はいろいろな活動があったが、コロナがはやってからは、書類等は郵送で市から送付などで活動が少なかった。地域の人を知ることが民生委員としての活動をよりスムーズにすることもあるので、郵送ではなく民生委員が配ることをそろそろやってもいいのではないかと思う。
- ・社会の変化に伴う現状を鑑み、持続可能な民生委員児童委員の活動となるよう検討。
- ・以前は、夜にスクランブル交差点等で交通安全等をよびかけるなどしたが、そういうのがなくなり楽になった。
- ・コロナで大分行事も減り、以前より楽になりました。
- ・この3年コロナ禍であまり活動が出来なかった。
- ・民生委員の資質による対応が必要。（民生委員のレベル差、見守り活動の有無等）
- ・活動記録の分析と発表と改革（内容別、地域別等）
- ・内容的にどれもできれば取り込んでいけたら良いと思います。
- ・民生委員は高齢者を把握できれば良いと思う。
- ・精神的な支援が！
- ・今春、町内の方からゴミステーションのネットがないので付けて欲しいとの申し出が有り、調査し、ネットのないステーションが多数有り町内会長に連絡し、全数にネットを設置した。ネットが不要だという町内はたぶんないと思います。早期に全数設置したらどうでしょうか。

・民生委員活動において、町内の中にも入り込めず、分からない人についても市の方へ訪問して調べてもわかり得ない事もあり、市とのパイプ役とありますが何なのかな〜と常々考えます。ずうずうしい人もいますのでゴミ出してとか、サオをおろしてと言われてもそこまでは…と市の方へゆだねます。全員そうなっても困ると考慮しました。何でも屋ではありません。生きている、健康である、足が悪い等の把握をしています。牛久保の方と話をする時、すごく親身にアパートまでさがして一緒に行って決めたと書いていた事にびっくりしました。そう思うと責任が大きすぎると心に重くきます。

・組織が大きくなりすぎている（理事会）。一般の民生委員の役に立っていない。”ケンイ”的である。見直してみたら。

・市の活動が本当にやらなければならない事なのか、今までやっているから、ただやっている様に思える！

・今年は民生委員入れ替え年だが、なかなか手がない1期3年で3分の1が辞める実態。なぜか？無給なのに仕事がハード、行政もなんでもお願いする負担、現在の体制の限界が近づく、これを補う、働く世代が関わられるような活動での住民の理解も必要と思う。

・とにかく、日常生活あわただしいので時間にゆとりがほしい。あまりの時間の拘束は免れたい。

・民生委員の活動は重要な仕事だということはわかりますが、高齢者にどこまで関わっていくかは、民生委員の考えに任されているので難しい仕事だと実感しました。

・沢山の資料をいただきますが、説明も早く、追いついていくのが大変です。全て必要なのでしょうか？

・役所×社協×民生委員の関わり方について、もっとしっかりした”在り方”について議論すべき。

・アンケート結果をこれからの民生委員活動に必ず反映してほしい。有意義なもの、ふさわしいと思うものは続けていただき、有意義と思わないもの、ふさわしいと思わないものはやめていただきたい。

・日々のすべての事業に言えることであるが、個人情報取得の壁に阻まれ、事務局が指定する対象者をすべて把握するが出来ないため、いつも中途半端な結果となり、これで良いのかと思う。また、大きく分けて市の福祉課・介護高齢課と社協の依頼業務になっていると思うが、時にうまく頭の中で交通整理出来ずどこに確認したらよいか分からないことがある。

・益々増加する高齢者、そして民児も高齢者がやっている。老老介護の現実、抜本的対策が必要な時期かも、シルバー活用で予算の確保、民児だけでは限界かも、

・重層的支援体制構築が進められると思うが、体制のキーとなる“アウトリーチ”や“伴走的支援”が、文面通り実施される事になれば、CSW や行政が頑張っても、地域での活動への“協力者”がどうしても必要になる。現状、社協や行政の書き物によれば、“福祉委員がこれを行う”ことを示唆しているが、その時どうするか、社協に問われる。体制が構築され実施された場合、民生委員が混乱なきよう種々検討の事。（民生委員は準公務員から、市役所から指示された業務は遂行しなければならないが、社協からのものは、指示ではなくあくまで要請と認識している。）

・協議会の規約では、総会で行うのは“協議”となっている。“審議”である。

・もっと仕事を減らしてほしい。

・どの活動も、民生・児童委員の活動としてふさわしいかどうかわかりませんが、有意義なのではないかと思えます。地域の方々に、民生・児童委員さんの存在を知っていただきたいですし、民生・児童委員同志も共に活動することを通してお互いの理解と、親睦が深まるのではないかと思います。

・急な案件も対応してくださりありがとうございます。夜間や休日でも連絡が取れるのはとても心強いです。これからも宜しくお願いします。